

刺戟症の1例。第14回富山眼科集談会，1986，6，富山。

38) 山田成明，山本文昭，石田俊郎：当科における両眼性網膜剝離の統計。第15回富山眼科集談会，1986，11，富山。

39) 鍛冶兆宏，中村泰久，越野 豊：ハードコンタクトレンズによる上眼瞼異物の1例。第14回富山眼科集談会，1986，6，富山。

40) 鍛冶兆宏，石田俊郎，中村泰久：鼻性球後視神経炎のX線像。第15回富山眼科集談会，1986，11，富山。

41) 白井千威子，中村泰久：強膜軟化症の1例。第14回富山眼科集談会，1986，6，富山。

◆ その他

1) 窪田靖夫：老人性白内障に対する八味地黄丸の投与成績。基礎と臨床 20：481—483，1986。

2) 中村泰久：眼の形成外科。臨床眼科，40：1108—1109，1986。

3) 中村泰久：眼球突出をみた場合の検査の進め方。日本の眼科一生涯教育委員会編，57：1145—1146。

耳 鼻 咽 喉 科 学

教 授	水 越 鉄 理
助 授	渡 辺 行 雄
講 師	大 橋 直 樹
講 師	小 林 英 人
助 手	麻 生 伸 夫
助 手	吉 田 行 肇
助 手	中 川 正 嗣
助 手	浅 井 正 嗣
助 手	将 積 日 出 夫
助 手	稻 葉 博 司
助 手	長 崎 孝 敏
助 手	今 村 純 一
文 部 技 官	武 田 精 一

◆ 著 書

1) 水越鉄理：めまい・平衡障害の治療と効果判定。「神経耳科学 III」，曾田豊二，鈴木淳一，時田喬編，1165—1184，金原出版，1986。

2) 水越鉄理：神経系の主要症状と病態生理。12. めまい。「臨床病態セミナー（6）神経」，荒木淑郎編，95—99，メジカルビュー社，1986。

3) Mizukoshi K., Watanabe Y. and Kato I.: 2-3, Otorhinolaryngological Findings in Minamata

Disease. In Recent Advances in Minamata Disease Studies. Methylmercury Poisoning in Minamata and Niigata, Japan. by Tsubaki T. and Takahashi H. (Ed.), 74—115, Kodansha Ltd. Tokyo, 1986.

4) 水越鉄理：めまい。「薬物療法の実際」第3版，山村雄一 他編，1010—1016，アサヒメディカル，1986。

5) 水越鉄理：椎骨脳底動脈疾患の診断と治療。「耳鼻咽喉科Q & A」，設楽哲也，飯沼寿彦編，207—209，金原出版，1986。

6) 水越鉄理：3—B. めまい・平衡障害を来す疾患，2. 中枢性めまい・平衡障害。「平衡機能検査の実際」，日本平衡神経科学会編，59—71，南山堂，1986。

7) 水越鉄理：5—H—1，視運動性眼振検査。「平衡機能検査の実際」，日本平衡神経科学会編，219—228，南山堂。

8) 渡辺行雄：7. 平衡機能検査の病歴保管とデータ検索の実際。「平衡機能検査の実際」，日本平衡神経科学会編，291—301，南山堂，1986。

9) Mizukoshi K., Watanabe Y., Ohashi N., Kobayashi H. and Shojaku H.: An epidemiological study of Meniere's disease in Toyama Prefecture. In New Dimension in Otorhinolaryngology, Head and Neck Surgery. by Myers, E. (Ed.) Vol. 2, 41—42, Elsevier Sci. Publi. B. V. (Biomed. Div.) Excerpt. Med. #680, Amsterdam, New York, Oxford, 1985.

10) Kobayashi H., Watanabe Y. and Ohashi N.: Quantitative measurement of visual vestibulo-ocular interaction using sinusoidal rotation in patients with vertigo. In New Dimension in Otorhinolaryngology, Head and Neck Surgery. by Myers E. (Ed.) Vol. 2, 295—296, Elsevier Sci. Publi. B. V. (Biomed. Div.) Excerpt. Med. #680, Amsterdam, New York, Oxford, 1985.

11) Ohashi N., Watanabe Y., Kobayashi H. and Mizukoshi K.: Quantification of smooth pursuit patterns (between smooth, saccadic and ataxic patterns). In New Dimension in Otorhinolaryngology, Head and Neck Surgery. by Myers E. (Ed.) Vol. 2, 304—305, Elsevier Sci. Publi. B. V. (Biomed. Div.) Excerpt. Med. #680, Amsterdam, New York, Oxford, 1985.

12) 水越鉄理：鼻腔脳ヘルニア「講談社耳鼻咽喉科診断治療大系」野村恭也他編。第3巻40—41，講

談社, 1986.

◆ 原 著

1) Ohashi N., Watanabe Y., Kobayashi H. and Mizukoshi K.: Quantitative comparison between saccadic and ataxic pursuits. *Acta Otolaryngol.* (Stockh.) 101: 200—206, 1986.

2) Watanabe Y., Ohashi N., Ohmura A., Ito M. and Mizukoshi K.: Gain of slow—phase velocity of optokinetic nystagmus. *Auris—Nasus—Larynx* (Tokyo): 13 (Suppl. II) 63—68, 1986.

3) Ohashi N., Kanda K., Shojaku H., Ohi H., Watanabe Y. and Mizukoshi K.: Equilibrium disorders and R—R intervals in ECG. *Auris—Nasus—Larynx*(Tokyo), 13 (Suppl. II), 193—197, 1986.

4) 小林英人, 大本英次郎, 渡辺行雄, 水越鉄理: タンポンガーゼ挿入による鼻閉塞と呼吸障害, 耳喉 58: 199—202, 1986.

5) 寺菌公雄, 小林英人, 稲葉博司, 吉田行夫, 大村明彦, 水越鉄理: 側頭骨にみられた ossifying fibroma 症例について, 耳喉 58: 673—678, 1986.

6) 上田晋介, 将積日出夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 硬口蓋穿孔を起こした鼻涙管留置カテーテルの一例, 耳喉 58: 973—976, 1986.

7) 将積日出夫: 前庭神経核に投射するプルキンエ細胞の小脳小節および虫部垂内における局在について. 日耳鼻. 89: 999—1011, 1986.

8) 将積日出夫, 水越鉄理, 佐藤 悠, 川崎 匡: 小脳小節と虫部垂の zonal organization. 日耳鼻, 89: 1406, 1986.

9) 小林英人, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 将積日出夫, 浅井正嗣, 大村明彦, 伊東宗治: 振子様刺激を用いた視覚系および前庭系神経機構の相互関係における定量分析. 日耳鼻, 89: 1407, 1986.

10) 浅井正嗣, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 中川 肇, 将積日出夫, 水越鉄理: 重心動揺軌跡長と周波数分析の診断的意義. 日耳鼻, 89: 1489, 1986.

11) 麻生 伸, 大井秀哉, 上田晋介, 長崎孝敏, 渋谷知子, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: メニエール病における蝸電図所見—過去3年間の症例についての検討—, 日耳鼻, 89: 1493, 1986.

12) 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 浅井正嗣, 将積日出夫, 今村純一, 大村明彦, 武田精一, 五十嵐良和, 水越鉄理: コンピュータによる前庭系・視覚系の検査刺激制御. 日耳鼻89: 1566, 1986.

13) 水越鉄理, 渡辺行雄: 視運動性眼振反応のバ

ラメータについて (情報処理による分析), 耳鼻臨床. Suppl. 2. 22—23, 1986.

14) 新関泰夫, 渡辺 勲, 大久保仁, 石田博義, 山本修三, 水越鉄理: メニエール病発症年令及び経過期間と臨床像について. 耳鼻臨床, Suppl. 8: 116—126, 1986.

15) 将積日出夫, 水越鉄理, 渡辺行雄, 小林英人, 浅井正嗣, 今村純一, 大村明彦, 伊東宗治, 安田健二, 神田憲一, 成瀬優知, 鏡森定信: 富山県における前庭機能異常例の疫学的調査(第2報). 耳鼻臨床 Suppl. 8: 116—126, 1986.

16) 渡辺行雄, 水越鉄理, 大橋直樹, 小林英人, 大村明彦, 伊東宗治, 神田憲一, 安田健二: 前庭神経炎の温度眼振反応と Galvanic Body Sway Test の推移からみた診断上の問題点. 耳鼻臨床, Suppl. 8: 140—145, 1986.

17) 麻生 伸, 水越鉄理, 大井秀哉, 上田晋介, 渋谷知子, 長崎孝敏, 吉田行夫, 渡辺行雄: メニエール病の蝸電図所見—グリセロール・テストとの比較—. 耳鼻臨床, Suppl. 8: 242—248, 1986.

18) 大村明彦, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 滲出性中耳炎が疑われた髄液漏を伴った側頭骨骨折の一例. 臨床耳科, 13: 164—165, 1986.

19) 中川 肇, 大村明彦, 渡辺行雄, 水越鉄理: Oto—palato—digital syndrome の一症例. 臨床耳科. 13: 230—231, 1986.

20) 上田晋介, 麻生 伸, 武田精一, 渡辺行雄, 水越鉄理: 電極位置の違いによる蝸電図波形の検討. *Audiology Japan*. 29: 491—492, 1986.

21) 麻生 伸, 上田晋介, 武田精一, 渡辺行雄, 水越鉄理: 内リンパ水腫動物の蝸電図における利尿剤の効果. *Audiology Japan* 29: 495—496, 1986.

22) 武田精一, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: マイコンによる音刺激制御. *Audiology Japan*. 29: 711—712, 1986.

23) 中川 肇, 水越鉄理, 渡辺行雄, 小林英人, 大橋直樹: 高齢者のめまい, 平衡障害の実態 (第2報) 視運動性眼振検査における加齢の影響に関する検討. *Equilibrium Res.* 45: 358—363, 1986.

24) 大橋直樹, 大村明彦, 浅井正嗣, 中川 肇, 小林英人, 渡辺行雄, 水越鉄理: 滑動性眼運動分析—smooth pursuit と fixation suppression との関係—. *Equilibrium Res.* 45: 166—169, 1986.

25) 麻生 伸, 浅井正嗣, 今村純一, 伊東宗治, 安田健二, 神田憲一, 渡辺行雄, 水越鉄理: 瞬目反射における眼球上転運動分析の信頼性. *Facial N. Res. Jpn.*, 6: 89—92, 1986.

- 26) 中川 肇, 浅井正嗣, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: 新潟県西頸城地方における顔面神経麻痺の疫学調査. *Facial N Res. Jpn.*, 6: 141—144, 1986.
- 27) 吉田行夫, 大村明彦, 上田晋介, 渡辺行雄, 水越鉄理: 球後視神経炎症例の検討. *日鼻科誌*, 24: 119—120, 1986.
- 28) 上田晋介, 将積日出夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 硬口蓋穿孔を起こした鼻涙管留置カテーテルの一例. *日鼻科誌*, 24: 152—153, 1986.
- 29) 大村明彦, 麻生 伸, 稲葉博司, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 副鼻腔原発と考えられた小細胞癌の一例. *日鼻科誌*, 24: 160—161, 1986.
- 30) 小林英人, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 鼻腔タンポンの血液ガスに与える影響. *日鼻科誌*, 24: 220—221, 1986.
- 31) 浅井正嗣, 大橋直樹, 上田晋介, 中川 肇, 渡辺行雄, 水越鉄理: 平滑筋肉腫に対するシスプラチン療法—上顎洞平滑筋肉腫の全身転移例—。頭頸部腫瘍. 12: 72, 1986.
- 32) 小泉富美朝, 倉茂洋一, 中川 肇, 渡辺行雄, 鍛冶友昭, 北川和久: 扁桃に出現する多核巨細胞について. *日扁桃誌*, 25: 163—168, 1986.
- 33) 中川 肇, 長崎孝敏, 稲葉博司, 上田晋介, 浅井正嗣, 吉田行夫, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 篩骨洞原発の横紋筋肉腫の一例—治療診断上の問題点についての考察—。耳鼻, 32: 5—9, 1986.
- 34) 和田好弘, 芹沢泰博, 森 泰雄, 野末道彦, 中川 肇: 当教室7年間の食道および気管, 気管支異物の統計的観察. *日気食会報*, 37: 262—267, 1986.
- 35) 北原正章, 渡辺 勲, 檜 学, 水越鉄理, 松永 亨, 松永 喬, 小松崎篤, 松岡 出, 上村卓也, 森満 保, 石井哲夫, 雲井健雄, 調 重昭, 中島成人, 二木 隆, 山川宗位, 菊池尚子, 稲守 徹, 荻野 仁, 柿内寿美, 真島一彦, 小川暢也: Isosorbide のメニエール病に対する効果に関する臨床的検討—多施設二重盲検法による Batahistine Mesylate との群間比較—。耳鼻, 32: 44—92, 1986.
- 36) 渡辺行雄, 大橋直樹, 今村純一, 武田精一, 水越鉄理: 平衡機能検査の分析・刺激制御のためのコンピュータシステム. *医療情報学*, 6: 391—401, 1986.
- 37) 大橋直樹, 浅井正嗣, 今村純一, 武田精一, 中川 肇, 渡辺行雄, 水越鉄理: 視覚 biofeed back を利用した重心動揺検査の試み. *医療情報学* 6: 403—406, 1986.

◆ 総 説

- 1) 水越鉄理: 平衡機能検査. 4) 視運動眼振検査・視標追跡検査. 耳喉, 763—773, 1986.
- 2) 水越鉄理: 耳鼻咽喉科疾患に対する漢方治療薬. 診断と治療, 74: 2370—2375, 1986.
- 3) 水越鉄理: 東洋医学的治療の実際. 9. めまい・平衡障害に対する東洋医学的治療. *J O H N S*, 2: 1421—1425, 1986.

◆ その他

- 1) 水越鉄理, 渡辺行雄, 伊東宗治, 大村明彦, 将積日出夫: 視性眼運動反射の利得の分析. 昭和60年度水俣病に関する総合的研究報告書, 70—72, 1986.
- 2) 水越鉄理, 麻生 伸, 大井秀哉, 上田晋介, 渋谷知子, 長崎孝敏, 吉田行夫, 渡辺行雄: メニエール病の蝸電図所見—グリセロール・テストとの比較—. 昭和60年度前庭機能異常調査研究班報告書, 289—295, 1986.
- 3) 水越鉄理, 将積日出夫, 渡辺行雄, 小林英人, 浅井正嗣, 今村純一, 大村明彦, 伊東宗治, 安田健二, 神田憲一, 成瀬優知, 鏡森定信: 富山県における前庭機能異常例の疫学的調査(第2報). 昭和60年度前庭機能異常調査研究班報告書, 163—173, 1986.
- 4) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 浅井正嗣, 大村明彦, 伊東宗治, 神田憲一, 安田健二: 前庭神経炎の温度眼振反応と Galvanic Body Sway Test の推移からみた診断上の問題点. 昭和60年度前庭機能異常調査研究班報告書, 187—192, 1986.
- 5) 渡辺 勲, 新関泰夫, 大久保仁, 石田博義, 山本修三, 水越鉄理, 渡辺行雄: メニエール病発症年齢及び経過期間と臨床像について. 昭和60年度前庭機能異常調査研究班報告書, 151—162, 1986.
- 6) 大村明彦, 麻生 伸, 稲葉博司, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 副鼻腔原発と考えられた小細胞癌の一例. *医薬の門*, 25: suppl. 14—15, 1986.
- 7) 大橋直樹, 中川 肇, 浅井正嗣, 上田晋介, 大村明彦, 渡辺行雄, 水越鉄理: 頭頸部領域での進行癌に対する Cisplatin 療法. *医薬の門*, 25: suppl. 29—30, 1986.
- 8) 中川 肇, 水越鉄理: 咽喉頭異常感症に対するマイナートランキライザーの効果. *Medical View Point*. 7: 3, 1986.
- 9) 北原正章, 渡辺 勲, 檜 学, 水越鉄理, 松永 亨, 松永 喬, 小松崎篤, 松岡 出, 上村卓也, 森満 保, 石井哲夫, 雲井健雄, 調 重昭, 中島成人, 二木 隆, 山川宗位, 菊池尚子, 稲守 徹,

荻野 仁, 柿内寿美, 真島一彦, 小川暢也: Isosorbide のメニエール病に対する使用経験. 薬理と治療, 14: 1055—1056, 1986.

10) 水越鉄理: No 5, 6, めまいの漢方療法, 日経メディカル, 15: No198, 136—137, 1986.

11) 水越鉄理: 最新の漢方治療指針, 第1集, 85 めまい. 日医師会誌, 96: 7, 1165, 1986.

12) 渡辺行雄, 水越鉄理: 平衡機能検査の電算機による分析・中国医学会第4回耳鼻咽喉科学術交流会資料論文集, 4: 4, 1986.

13) 馬場駿吉, 島田純一郎, 水越鉄理, 渡辺行雄他: 耳用 Fosfomycin (FOM) の慢性化膿性中耳炎および慢性化膿性中耳炎急性増悪に対する二重盲検比較試験成績. 耳鼻, 32: 868—923, 1986.

14) 猪 初男, 松永 亨, 水越鉄理, 菊谷豊彦: めまいの治療. 第1回耳鼻咽喉科漢方研究会記録集 15—22, 1986.

◆ 学会報告

1) Mizukoshi K.: Recent advance in conservative treatment of tinnitus and Meniere's disease. Meniere's disease, ATP. The 2nd International Symposium & Workshops on Surgery on the Inner Ear, 1986, 8, Snowmass—Aspen, U. S. A.

2) Mizukoshi K.: The clinical correlation and value of ENG. Platform test and SHA rotary chair or what's practical for the otolaryngologist office. Testings for the visual vestibular interaction in patients with vertigo. The 2nd International Symposium & Workshops on Surgery of the Inner Ear, 1986, 8, Snowmass—Aspen, U. S. A.

3) Mizukoshi K.: Benign paroxysmal positional vertigo and singular neurectomy. Epidemiological and clinical studies on benign paroxysmal positional vertigo in Japan. The 2nd International Symposium & Workshops on Surgery of the Inner Ear, 1986, 8, Snowmass—Aspen, U. S. A.

4) Kobayashi H., Mizukoshi K., Ohashi N. and Watanabe Y.: Pendular rotatory testing in peripheral vestibular disorders. The 2nd International Symposium and Workshops on Surgery of the Inner Ear, 1986, 8, Snowmass—Aspen, U. S. A.

5) Shojaku H., Sato Y. and Kawasaki T.: Localization of nodulo—uvular Purkinje cells projecting to the vestibular nuclei in cats. 30th International Congress of Physiological Sciences Satellite Meeting. Developments in Oculomotor

Research, 1986, 7, Glenden Beach, U. S. A.

6) Shojaku H., Mizukoshi K. and Watanabe Y.: An epidemiological comparative study on the three peripheral vestibular disorders in Toyama Prefecture. The 2nd International Symposium and Workshops on Surgery of the Inner Ear, 1986, 8, Snowmass—Aspen, Colorado, U. S. A.

7) Ohashi N., Asai M., Ohmura A., Watanabe Y. and Mizukoshi K.: Clinical evaluation on the measurement of center of gravity. 8th International Symposium on Posturography, 1986, 5, Amsterdam.

8) Asai M., Watanabe Y., Ohashi N. and Mizukoshi K.: Frequency analysis of the displacement of center of gravity. 8th International Symposium on Posturography, 1986, 5, Amsterdam.

9) Shojaku H., Mizukoshi K., Watanabe K., Naruse Y. and Kagamimori S.: Multi—variable regression analysis on the geographical distribution of Meniere's disease in Toyama Prefecture. 12th Congress of the International Society for Research on Civilization Diseases and Environment, 1986, 11, Yokohama, Japan.

10) 渡辺行雄, 水越鉄理: 平衡機能検査の電算機による分析. 第4回中国医学会耳鼻咽喉科学会全国学術会, 1986, 中国.

11) 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 浅井正嗣, 将積日出夫, 今村純一, 大村明彦, 武田精一, 水越鉄理: 前庭系・視覚系機能検査のコンピュータ制御 (ビデオ演題). 第87回日耳鼻総会, 1986, 5, 札幌.

12) 小林英人, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 将積日出夫, 浅井正嗣, 大村明彦, 伊東宗治: 振子様回転刺激を用いた視覚系および前庭系神経機構の相互関係における定量分析. 第87回日耳鼻総会, 1986, 5, 札幌.

13) 麻生 伸, 大井秀哉, 上田晋介, 長崎孝敏, 渋谷知子, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: メニエール病における蝸電図所見—過去3年間の症例についての検討—. 第87回日耳鼻総会, 1986, 5, 札幌.

14) 浅井正嗣, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 中川 肇, 将積日出夫, 水越鉄理: 重心動揺軌跡長と周波数分析の診断的意義. 第87回日耳鼻総会, 1986, 5, 札幌.

15) 将積日出夫, 水越鉄理, 佐藤 悠, 川崎 匡: 小脳小節と虫部垂の zonal organization. 第87回日

耳鼻総会, 1986, 5, 札幌.

16) 麻生 伸: 内リンパ水腫動物の蝸電図における利尿剤の効果. 第31回日本オージオロジー学会, 1986, 10, 北九州.

17) 上田晋介, 麻生 伸, 武田精一, 渡辺行雄, 水越鉄理: 電極位置の違いによる蝸電図波形の検討. 第31回日本オージオロジー学会, 1986, 10, 北九州.

18) 武田精一, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: マイコンによる音刺激制御. 第31回日本オージオロジー学会, 1986, 10, 北九州.

19) 水越鉄理, 将積日出夫, 渡辺行雄, 長崎孝敏, 伊東宗治, 安田健二, 五十嵐良和: 富山県における前庭機能異常例の疫学的調査. 第45回日本平衡神経科学会, 1986, 11, 浜松.

20) 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: ランダムETTの周波数分析. 第45回日本平衡神経科学会, 1986, 11, 浜松.

21) 小林英人, 伊東宗治, 大村明彦, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 振子様回転刺激を用いた視運動性眼振について. 第45回日本平衡神経科学会総会, 1986, 11, 浜松.

22) 麻生 伸, 上田晋介, 安田健二, 渡辺行雄, 水越鉄理: 変動性聴力を示した症例の聴覚・平衡機能検査所見. 第45回日本平衡神経科学会, 1986, 11, 浜松.

23) 中川 肇, 浅井正嗣, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 高齢者のめまい, 平衡障害(第4報)平衡機能検査上の相互作用について. 第45回日本平衡神経科学会, 1986, 11, 浜松.

24) 将積日出夫, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大村明彦, 伊東宗治: 正常人の視運動性後眼振の検討(第2報). 第45回日本平衡神経科学会, 1986, 11, 浜松.

25) 浅井正嗣, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 中川 肇, 水越鉄理: 両側前庭機能障害例および中枢障害例における重心動揺. 第45回日本平衡神経科学会, 1986, 11, 浜松.

26) 今村純一, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 水越鉄理: 前庭系・視覚系機能検査のコンピュータ刺激制御. 第45回日本平衡神経科学会, 1986, 11, 浜松.

27) 大村明彦, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 伊東宗治, 将積日出夫, 水越鉄理: 等速度刺激視運動性眼振検査における線条刺激とランダム刺激の比較. 第45回日本平衡神経科学会, 1986, 11, 浜松.

28) 伊東宗治, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 大村明彦, 今村純一, 水越鉄理: 等加

速度刺激による視運動性眼振. 第45回日本平衡神経科学会, 1986, 11, 浜松.

29) 神田憲一, 大橋直樹, 将積日出夫, 大井秀哉, 浅井正嗣, 中川 肇, 渡辺行雄, 水越鉄理: めまい. 平衡障害例での自律神経の動的・静的な機能の比較検討. 第45回日本平衡神経科学会, 1986, 11, 浜松.

30) 安田健二, 渡辺行雄, 将積日出夫, 中川肇, 麻生 伸, 小林英人, 水越鉄理: 小脳橋角部の髄膜腫. 第45回日本平衡神経科学会, 1986, 11, 浜松.

31) 石黒千代子, 大橋光伸, 将積日出夫, 水越鉄理, 渡辺行雄: 微細脳機能障害児及び自閉症児の視運動性眼振検査について. 第45回日本平衡神経科学会, 1986, 11, 浜松.

32) 中川 肇, 五十嵐良和, 川真田智子, 大橋直樹, 渡辺行雄: Rowley 症候群と思われる一家系. 第14回日本臨床耳科学会, 1986, 10, 新潟.

33) 長崎孝敏, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: 顔面神経麻痺と難聴を伴った大理石骨病の1症例. 第14回日本臨床耳科学会, 1986, 10, 新潟.

34) 渋谷知子, 麻生 伸, 浅井正嗣, 大井秀哉, 大村明彦, 安田健二, 渡辺行雄, 水越鉄理: 興味ある経過をたどった外リンパ瘻の一例. 第14回日本臨床耳科学会, 1986, 10, 新潟.

35) 大橋直樹, 吉田行夫, 長崎孝敏, 渡辺行雄, 水越鉄理, 上山武史, 富川正樹: 総頸動脈と内頸静脈の再建術を施行した喉頭癌症例. 第10回日本頭頸部腫瘍学会, 1986, 9, 東京.

36) 中川 肇, 伊東宗治, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 頸部腫瘍に対するFNAの試み. 第10回日本頭頸部腫瘍学会, 1986, 7, 仙台.

37) 浅井正嗣, 大橋直樹, 稲葉博司, 渡辺行雄, 水越鉄理: 甲状軟骨膜より発生したと思われる良性線維性組織球腫の一例. 第10回日本頭頸部腫瘍学会, 1986, 6, 仙台.

38) 長崎孝敏, 大井秀哉, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 当科における voice prosthesis (低圧型人工喉頭) の使用経験(主に良好な結果を得た症例について). 第10回日本頭頸部腫瘍学会, 1986, 6, 仙台.

39) 麻生 伸, 浅井正嗣, 今村純一, 伊東宗治, 安田健二, 神田憲一, 水越鉄理, 渡辺行雄: 瞬目反射における眼球上転運動分析の信頼性. 第9回顔面神経研究会, 1986, 6, 東京.

40) 中川 肇, 浅井正嗣, 麻生 伸, 渡辺行雄: 新潟県西頸城地方における顔面神経麻痺の疫学調査.

第9回日本顔面神経研究会, 1986, 6, 東京.

41) 安田健二, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 水越鉄理: 前庭神経炎における Galvanic Body Sway Test の意義. 第48回耳鼻略床, 1986, 7, 和歌山.

42) 大村明彦, 大橋直樹, 稲葉博司, 渡辺行雄, 五十嵐隆夫, 村上行啓, 佐々 学: アレルギー性鼻炎に対するユスリカ抗原について. 第25回日本鼻科学会, 1986, 9, 旭川.

43) 神田憲一, 大井秀哉, 渋谷知子, 伊東宗治, 渡辺行雄, 水越鉄理: 巨大なる前頭洞嚢腫の一例. 第25回日本鼻科学会, 1986, 9, 旭川.

44) 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 今村純一, 武田精一, 木下朱美: 平衡機能検査における各種の刺激制御の刺激と反応の対応に関する分析処理の実験. 第2回耳鼻咽喉科医療情報処理研究会, 1986, 3, 神奈川.

45) 渡辺行雄, 大橋直樹, 今村純一, 水越鉄理: 眼振波形と各種眼振反応分析のアルゴリズム. 第2回耳鼻咽喉科医療情報処理研究会, 1986, 3, 神奈川.

46) 大橋直樹, 浅井正嗣, 今村純一, 渡辺行雄, 水越鉄理: 視覚情報を bio-feed back した重心動揺検査の試み. 第2回耳鼻咽喉科医療情報処理研究会, 1986, 3, 神奈川.

47) 稲葉博司, 大橋直樹, 武田精一, 今村純一, 渡辺行雄, 水越鉄理: 高速分光光度計による鼻粘膜の測定とそのコンピュータ処理. 第2回耳鼻咽喉科情報処理研究会. 1986, 3, 神奈川.

48) 武田精一, 今村純一, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: マイコンによる高速アナログ情報処理について. 第2回耳鼻咽喉科情報処理研究会, 1986, 3, 神奈川.

49) 大村明彦, 大橋直樹, 稲葉博司, 渡辺行雄, 五十嵐隆夫, 村上行啓, 佐々 学: アレルギー性鼻炎に対するユスリカ抗原について. 第4回日耳鼻免疫アレルギー研究会, 1986, 3, 神奈川.

50) 中川 肇, 伊東宗治, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 頭頸部領域での穿刺吸引細胞診 (FNA). 第5回北陸頭頸部腫瘍懇話会, 1986, 7, 富山.

51) 浅井正嗣, 大橋直樹, 稲葉博司, 渡辺行雄, 水越鉄理: 甲状軟骨膜より発生したと思われる良性線維性組織球腫の一例, 第5回北陸頭頸部腫瘍懇話会, 1986, 7, 富山.

52) 長崎孝敏, 大井秀哉, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 喉摘, 咽喉摘後の voice prosthesis によ

る音声獲得 (主に良好な結果を得た症例について). 第5回北陸頭頸部腫瘍懇話会, 1986, 7, 富山.

53) 大村明彦, 大橋直樹, 稲葉博司, 渡辺行雄, 水越鉄理: ユスリカ抗原によるアレルギー性鼻炎について. 第7回富山免疫アレルギー研究会, 1986, 2, 富山.

54) 上田晋介, 大橋直樹, 中川 肇, 渡辺行雄, 水越鉄理, 上山武史: 頸動静脈の再建術を施行した頭頸部癌の1症例. 第34回中部地方部会連合会, 1986, 7, 津.

55) 伊東宗治, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 今村純一, 大村明彦, 水越鉄理: 等加速度刺激視運動性眼振検査における線条速度と緩徐相速度の対比. 第34回日耳鼻中部地方部会連合会, 1986, 7, 津.

56) 中川 肇, 浅井正嗣, 麻生 伸, 水越鉄理: 新潟県西頸城地方における顔面神経麻痺の疫学調査. 第243回日耳鼻北陸地方部会連合会, 1986, 6, 金沢.

57) 浅井正嗣, 麻生 伸, 今村純一, 伊東宗治, 安田健二, 渡辺行雄: 顔面神経麻痺患者に対する瞬目反射時の眼球運動測定の意義について. 第243回日耳鼻北陸地方部会連合会, 1986, 6, 金沢.

58) 安田健二, 中川 肇, 大井秀哉, 大橋直樹, 渡辺行雄, 吉田 薫: 歯性上顎洞嚢胞の2症例 (濾胞性嚢胞と歯根嚢胞). 第243回日耳鼻北陸地方部会連合会, 1986, 6, 金沢.

59) 長崎孝敏, 麻生 伸, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 当科におけるメニエール病の手術的治療と術後経過の検討. 第244回日耳鼻北陸地方部会, 1986, 9, 金沢.

60) 今村純一, 稲葉博司, 浅井正嗣, 渡辺行雄, 水越鉄理: 喉頭破裂部に発生した神経線維腫の1例. 第244回日耳鼻北陸地方部会連合会, 1986, 9, 金沢.

61) 水越鉄理: 内耳外科の現況—第2回国際内耳手術シンポジウム・ワークショップに出席して—. 第245回日耳鼻北陸地方部会連合会, 1986, 12, 金沢.

62) 将積日出夫, 渡辺行雄, 伊東宗治, 安田健二, 神田憲一, 水越鉄理: メニエール病発症背景因子に関する疫学的調査研究. 第245回日耳鼻北陸地方部会連合会, 1986, 12, 金沢.

63) 五十嵐良和, 中川 肇, 稲葉博司, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理, 遠藤俊郎: 難聴をきたした後頭蓋窩グリオーマ. 第245回日耳鼻北陸地方部会連合会, 1986, 12, 金沢.

64) 大橋直樹, 吉田行夫, 長崎孝敏, 安田健二,

渡辺行雄, 水越鉄理, 上山武史: 喉頭癌頸部転移に対するバイパス手術経験. 第6回日耳鼻富山県地方部会, 1986, 3, 富山.

65) 将積日出夫, 水越鉄理: ネコにおける前庭神経核投射プルキンエ細胞の小脳の小節および虫部垂内の局在. 第6回日耳鼻富山県地方部会, 1986, 3, 富山.

66) 長崎孝敏, 大井秀哉, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 当科における voice prosthesis (低圧型人工喉頭) の使用経験. 第6回日耳鼻富山県地方部会, 1986, 3, 富山.

67) 渋谷知子, 麻生 伸, 浅井正嗣, 大井秀哉, 大村明彦, 安田健二, 渡辺行雄, 水越鉄理: 当科における外リンパ瘻の治療経験. 第6回日耳鼻富山県地方部会, 1986, 3, 富山.

68) 神田憲一, 渋谷知子, 大井秀哉, 渡辺行雄: 巨大なる前頭洞囊腫の一例. 第6回日耳鼻富山県地方部会, 1986, 3, 富山.

69) 上田晋介, 麻生 伸, 長崎孝敏, 渡辺行雄: 電極位置の違いによる蝸電図波形の検討. 第7回日耳鼻富山県地方部会, 1986, 11, 富山.

70) 長崎孝敏, 麻生 伸, 渡辺行雄: 難聴と顔面神経麻痺を伴った大理石骨病の1症例. 第7回日耳鼻富山県地方部会, 1986, 11, 富山.

71) 安田健二, 中川 肇, 小林英人, 麻生 伸, 将積日出夫, 渡辺行雄: 内耳道の聴神経腫瘍—特異な聴力のみを所見を示した聴神経腫瘍を中心に—. 第7回日耳鼻富山県地方部会, 1986, 11, 富山.

72) 伊東宗治, 中川 肇, 安田健二: 耳瘻孔頸瘻に感音難聴を伴った一家系. 第7回日耳鼻富山県地方部会, 1986, 11, 富山.

73) 神田憲一, 浅井正嗣, 稲葉博司, 大橋直樹, 渡辺行雄: 甲状軟骨から発生した良性線維組織球腫の一例. 第7回日耳鼻富山県地方部会, 1986, 11, 富山.

74) 五十嵐良和, 吉田行夫, 稲葉博司: 喉頭アミロイドーシスの一例. 第7回日耳鼻富山県地方部会, 1986, 11, 富山.

75) 大村明彦, 大橋直樹, 稲葉博司, 渡辺行雄, 水越鉄理, 五十嵐行啓, 佐々 学: アレルギー性鼻炎に対するユスリカ抗原について. 第4回日耳鼻免疫アレルギー研究会, 1986, 3, 神奈川.

76) 水越鉄理: 第2回国際内耳外科シンポジウムおよびワークショップの報告. 昭和61年度前庭機能異常調査研究班第1回総会, 1986, 8, 京都.

77) 渡辺行雄, 水越鉄理, 大橋直樹, 大村明彦, 伊東宗治, 神田憲一, 安田健二: 前庭神経炎の経過.

厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班昭和60年度第2回総会, 1986, 2, 京都.

78) 将積日出夫, 水越鉄理, 渡辺行雄, 小林英人: 富山県における前庭機能異常例の疫学的調査 (第2報). 昭和60年度厚生省前庭機能異常調査研究班第2回総会, 1986, 2, 京都.

79) 水越鉄理: 特別講演—平衡機能検査へのコンピュータの応用. 第14回日耳鼻静岡県地方部会, 1986, 7, 静岡.

80) 渡辺行雄: 後迷路性前庭障害の検査法と前庭神経炎診断上の問題点. シンポジウム“前庭神経節細胞と前庭神経炎”, 第130回日耳鼻山口県地方部会, 1986, 9, 山口.

81) 水越鉄理: 特別講演—めまいの臨床と治療. 日耳鼻大分県地方部会 (豊耳会), 1986, 10, 大分.

82) 水越鉄理: 特別講演—頭頸部外傷とめまい. 第4回頭頸部外傷懇話会, 1986, 11, 福岡.

83) 小林英人, 水越鉄理: 視覚系と前庭系の相互作用に関する神経科学的的研究. 第35回日耳鼻山形地方部会, 1986, 12, 山形.

84) 渡辺行雄, 水越鉄理, 大橋直樹, 大村明彦, 伊東宗治, 安田健二, 神田憲一: 前庭神経炎の経過と問題点. 第22回日耳鼻新潟県地方部会, 1986, 6, 新潟.

85) 沢田克郎, 小林英人: 乗物酔いの20症例. 第23回日耳鼻新潟県地方部会, 1986, 12, 新潟.

86) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大村明彦, 将積日出夫: 視性眼反射の分析. 第14回水俣病総合研究会, 1986, 2, 東京.

◆ その他

1) 水越鉄理: メニエール病の疫学. 第2回遼寧めまい平衡障害講習会, 1986, 5, 遼陽, 中国.

2) 水越鉄理: ENGのコンピュータ分析. 第2回遼寧めまい平衡障害講習会, 1986, 5, 遼陽, 中国.

3) 水越鉄理: 中枢性めまい・平衡障害・第2回遼寧めまい平衡障害講習会, 1986, 5, 遼陽, 中国.

4) 水越鉄理: 振子様回転検査. 第2回遼寧めまい平衡障害講習会, 1986, 5, 遼陽, 中国.

5) 水越鉄理: めまいの治療. 鹿児島耳鼻咽喉科臨床会, 1986, 6, 鹿児島.

6) 水越鉄理: メニエール病の疫学, 診断, 治療. 帝耳会カンファレンス, 1986, 6, 東京.

7) 水越鉄理: 検査士の役割と将来展望. 第16回日本平衡神経科学会平衡機能検査士技術者講習会, 1986, 7, 浜松.

8) 水越鉄理: メニエール病の診断と治療. 聖マ

- リアンナ医大耳鼻咽喉科集談会, 1986, 7, 川崎.
- 9) 水越鉄理: めまいの手術的療法. 第3回日本平衡神経科学会医師講習会, 1986, 11, 福岡.
- 10) 水越鉄理: 最近の漢方治療指針. 第1集, 85. めまい. ラジオたんぱ放送, 1986, 11, 7, 東京.
- 11) 渡辺行雄: 起立性調節障害について, 上越地区学校保健医会, 1986, 10, 新潟.

泌 尿 器 科 学

教 授	片 山	喬
助 授	中 田	瑛 浩
講 師	秋 谷	徹 徹
助 手	石 川	成 明
助 手	小 池	宏 宏
助 手	寺 田	為 義
助 手	梅 田	慶 一
助 手	風 間	泰 蔵
助 手	酒 本	護 護
助 手	河 野	孝 史
助 手	岩 崎	雅 志
文部技官	山 崎	典 昌
文部技官	近 藤	真 紀

◆ 著 書

- 1) 片山 喬, 風間泰蔵, 梅田慶一: 再燃前立腺癌の治療 VIP 療法および bromocriptine 療法. 「再燃前立腺癌の治療 (泌尿器がん化学療法シリーズII)」片山 喬他編, 97—101, 蟹書房, 1986.
- 2) 片山 喬: 精液に血がまじる(1)(2)「泌尿器科診療」町田豊平他編, 312—315, 六法出版, 1986.
- 3) 中田瑛浩: 副腎腫瘍の診断と治療. 「泌尿器科 Q & A」町田豊平, 島崎 淳編, 181—184, 金原出版社, 1986.
- 4) 中田瑛浩: 原発性アルドステロン症の診断と治療. 「泌尿器科 Q & A」町田豊平, 島崎 淳編, 185—187, 1986.
- 5) 中田瑛浩: 褐色細胞腫の診断と治療. 「泌尿器科 Q & A」町田豊平, 島崎 淳編, 188—190, 1986.
- 6) Nakada T. and Katayama T.: Changes in human adrenal catecholamines with age. In *Urologie*, by Jardan, A. (Ed.), 404—406, *Internationale B'Urologie*, Paris (France), 1986.

◆ 原 著

- 1) Nakada T., Koike H. and Katayama T.: Participation of central norepinephrine in the development of two-kidney, one clip Goldblatt

hypertension. *J. Urol.* 135: 1066—1070, 1986.

2) Nakada T., Ishikawa S., Sakamoto S., Katayama T., Igarashi Y., Mizumura Y., Koizumi F., Shigamtsu H. and Fukuda T.: N-(3', 4'-dimethoxycinnamoyl) anthranilic acid, an antiallergic compound, induced eosinophilic cystitis. *Urol. Internat.* 41: 457—464, 1986.

3) Sasagawa I., Kazama T., Umeda K., Kohno T., Katayama T. and Miwa A.: Down's syndrome associated with seminoma. *Urol. Int.* 41: 238—240, 1986.

4) Yoshikawa M. and Nakada T.: High level of adrenal catecholamines in hypertensive subjects with impaired renal function. *Internat. Urol. Nephrol.* 18: 185—192, 1986.

5) Nakada T., Saito H., Ota K., Saegusa T., Chikenji M. and Matsushita T.: Serum testosterone, testicular connective tissue protein and testicular histology in rats treated with hyperbaric oxygen. *Urol. Nephrol.*, 18: 439—447, 1986.

6) Sasagawa I., Terada T., Katayama T. and Sakamoto H.: Ultrastructure of the testis in an XX-male with normal plasma testosterone. *Andrologia* 18: 361—367, 1986.

7) Nakada T., Kimura M., Watanabe H., Yamori Y. and Lovenberg W.: Increased non-collagen protein synthesis in the posterior cerebral artery in spontaneously hypertensive rats. *J. Hypertension* 4 (suppl. 3): 93—95, 1986.

8) 笹川五十次, 片山 喬: 精細管の筋様細胞の電子顕微鏡的研究. 第一報 走査型電子顕微鏡によるマウスおよびヒト筋様細胞の観察. *日泌尿会誌* 77: 588—593, 1986.

9) 笹川五十次, 片山 喬: 精索静脈瘤の研究. 第一報 ヒト精索静脈瘤精巢の光頭的・電頭の研究. *日泌尿会誌* 77: 876—877, 1986.

10) 笹川五十次, 片山 喬: 精索静脈瘤の研究. 第二報 ラットにおける実験的精索静脈瘤精巢の光頭的・電頭の研究. *日泌尿会誌* 77: 1067—1077, 1986.

11) 片山 喬, 梅田慶一, 風間泰蔵: 前立腺肥大症のホルモン環境と antiandrogen 療法. *泌尿紀要* 32: 1584—1589, 1986.

12) 志田圭三, 片山 喬ほか: 二重盲検法におけるアリルエストレノールの前立腺肥大症に対する臨床効果. *泌尿紀要* 32: 625—648, 1986.